

企画展 戦後 80 年

井上靖が見た戦争

—もう自分ひとりの幸福を求める時代は終わった。
ほかの人が幸福でなくて、どうして自分が幸福になれるだろう。

「鎮魂」—硫黄島・鎮魂碑・碑文より—

二等兵の目

記者の目

作家の目

井上靖は、二等兵として、新聞記者として、作家として、戦争を書き続けた小説家です。

日中戦争が始まった一九三七年に応召。二等兵として中国・北支の地を行軍し、内地送還までの日々を日記に綴りました。

第二次世界大戦終戦の日は社会部デスクとして筆をとり、終戦の詔勅を伝える記事を執筆。作家となつてからは、友の戦死、行軍体験を小説や詩として発表するとともに、硫黄島慰霊碑、熊野山慰霊碑へ鎮魂の想いを刻みました。

本展では、井上靖が書いた戦争に関する作品群を紹介します。井上靖が繰り返し書いた「戦地での温かな優しさ」をお読みいただければ幸いです。

ノベルティ

会期中に来館された方々へ、スタンプを押して作る「自分だけのブックカバー」をプレゼントします。

トークイベント

会場・井上靖文学館

3月29日(土) 午後2時～3時30分

「井上靖と戦争」

講師・黒田佳子さん

(詩人・井上靖二女)

定員30人・先着順

参加費無料(要観覧料)



▲申込はこちら

5月24日(土) 午後2時～3時30分

「井上靖が体験した戦争」

講師・宮崎潤一さん

(元大東文化大学特任准教授)

井上靖研究会理事

定員30人・先着順

参加費無料(要観覧料)



▲申込はこちら

ケイカまつり

4月中旬予定。

『天平の甞』ゆかりのケイカ開花時期にオリジナルしおりを配付します。開催時期は、ホームページやSNSにて告知します。

生誕記念日

5月6日(火)

井上靖118回目の生誕日です。来館された先着118人の方々にポストカードなどノベルティをプレゼントします。



石家荘野戦予備病院にて 1937(昭和12)年(右から二人目が靖)

チラシ背景: 井上靖『中国行軍日記』より

2025.3/16(日) ▶ 9/23(火)

長泉町 井上靖文学館

静岡県駿東郡長泉町東野 515-149 電話 055-986-1771

長泉町在住・在勤の方
観覧料は無料です

※証明できるものを
ご持参ください

開館時間=10:00～17:00/入館は16:30まで

休館日=水曜日/祝日の場合は翌平日休館/年末年始

3月13日(木)～15日(土)は展示替えに伴い臨時休館します

観覧料=大人・大学生200円/高校生以下は無料

資料協力=神谷昌嗣 鈴木三與志 西川濃 伊豆近代文学博物館 後援=一般財団法人 井上靖記念文化財団



ホームページ



X



Instagram



フリー Wi-Fi を設置しました。
二次元コードを読み込むと
詳細な解説が表示されます。